※別紙2

技 術 概 要 書 （様式）

出展技術の分類	安全・防災　インフラDX　維持管理　環境　コスト　品質　（該当分類に○を付記）		
技術名称	リアルタイム防災：見える・感じる・備える	担当部署	情報システム事業本部 防災情報システム部
NETIS登録番号	①QS-180042-A, ②QS-200028-A	担当者	望月　優生、佐藤　晶
社名等	いであ株式会社	電話番号	03-5544-9063

技術の概要

１．技術開発の背景及び契機

人口減少時代を迎える中、デジタル技術の進展が著しく、インフラ分野においてもDXが求められています。また、気候変動の影響により、毎年のように水災害が発生しており、ひとりあたりの生産性向上および防災力向上が大きな課題となっています。

そこで、画像解析技術を活用し、非接触型の水位計測および流量観測、土石流計測システムを開発しました。また、AR・VR技術を活用した防災教育コンテンツなど、デジタル技術を活用したインフラDXに活用できる可視化技術の開発を続けています。

２．技術の内容

【①流量観測システム（QS-180042-A）】

本システムは、画像解析技術を活用して水位・流速を非接触で自動計測し、安全かつ確実に河川流量データを取得でき、河川の基礎データの蓄積や河川管理DXに貢献します。

【②土石流検知システム（QS-200028-A）】

本システムは、カメラ映像を活用した解析により、非接触で土石流の発生を瞬時に自動検知し、通知するシステムです。砂防管理DXに貢献します。

【③AR浸水体験システム】

本システムは、スマートフォンを活用し、GPS機能とARを連携させ、当該位置の浸水状況を可視化して表示するシステムです。

３．技術の効果

それぞれのシステムは、いままで人が実施していた観測や接触型のセンサー等で計測していた技術をデジタル技術で自動化・安全化しつつ、省人化・効率化することができます。河川、砂防、道路、海岸などの管理をデジタル化することにより、安全でかつ自動化し、ネットワークで連携することで、新たな価値を生み出します。

４．技術の適用範囲

【①流量観測システム（QS-180042-A）】

【②土石流検知システム（QS-200028-A）】

・カメラが無い箇所でも新たにカメラを設置することで、当該技術は活用頂けます。

・またカメラがすでに設置されている箇所であれば、既存機器の有効活用も可能です。

・商用電源がない箇所でも太陽光などによる発電システムを組合わせて活用可能です。

【③AR浸水体験システム】

・GPS信号が受信可能なスマートフォンであれば、どなたでも利用可能です。

５．活用実績

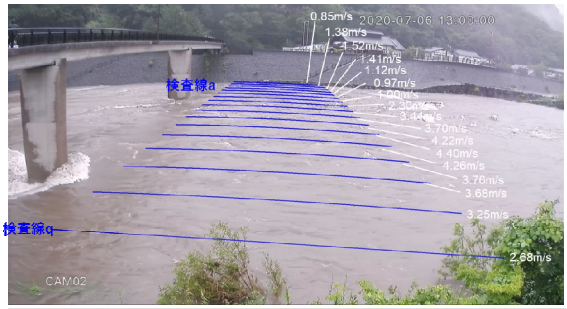
国の機関　14件　（九州　3件、　九州以外　11件）

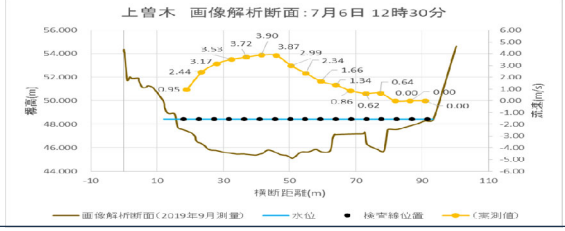
自治体　4件　（九州　0件、　九州以外　4件）

民間　2件　（九州　1件、　九州以外　1件）

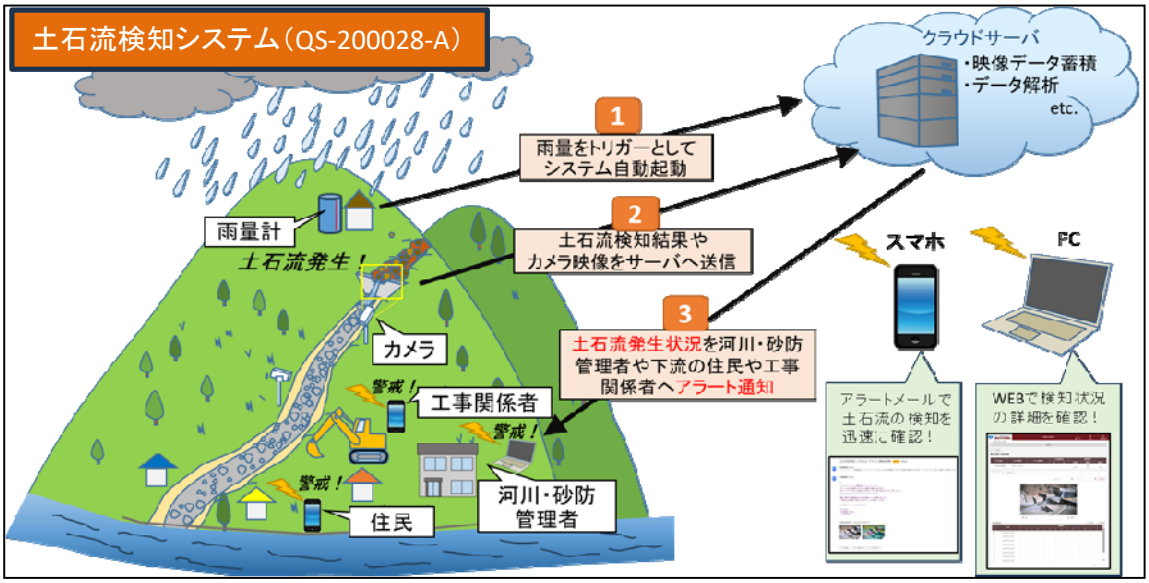
6. 写真・図・表

流量観測システム（QS-180042-A）





土石流検知システム（QS-200028-A）



AR浸水体験システム